



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月10日 東

上場会社名 株式会社トヨーアサノ 上場取引所  
 コード番号 5271 URL <http://www.toyoasano.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植松 眞  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 植松 泰右 (TEL) 055-967-3535  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績 (平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	6,286	△2.9	393	7.9	353	13.2	184	12.4
26年2月期第2四半期	6,476	△6.8	364	83.0	312	113.5	163	96.1

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 187百万円( 28.1%) 26年2月期第2四半期 146百万円( 84.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	15.36	—
26年2月期第2四半期	13.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	13,570	2,366	17.0
26年2月期	13,370	2,240	16.3

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 2,302百万円 26年2月期 2,175百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想 (平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	△1.8	600	10.3	500	11.3	270	33.3	22.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年2月期2Q	14,408,400株	26年2月期	14,408,400株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	2,417,153株	26年2月期	2,416,864株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年2月期2Q	11,991,426株	26年2月期2Q	11,992,046株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が一時的に景気を下押ししたものの、経済・金融政策の効果による企業収益の回復が所得・雇用環境の改善にも波及し始めており、全般的には緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループの事業分野であります建設業界におきましては、消費税増税の駆け込み需要の反動減が住宅投資に見られたものの、震災復興関連を中心とした公共事業が下支えとなり、概ね堅調に推移いたしました。一方では、景気回復に伴う人手不足と人件費の高騰、急激な円安の影響を受けた原材料費の高騰など、需要回復の足かせとなり得る下振れリスクも顕在化し始めております。

当社グループの主力製品でありますコンクリートパイル市場におきましては、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減と人件費の高騰等が影響し、全般的には厳しい市場環境で推移いたしました。

また、第2の柱でありますコンクリートセグメント市場におきましては、需要の大半を占める公共事業、特に大型プロジェクトが一巡したことから、長期に渡り需要が低迷し、非常に厳しい事業環境が続いております。

このような経営環境下で当社グループは、「社会資本の整備・充実に参画、貢献できる企業」「安心・確実な品質で選ばれる企業」の経営理念の下、平成25年度からスタートした「第4次中期3ヵ年経営計画」に則し、高度化するお客様ニーズを正確に捉え、高い品質の製品とサービスを競争力のあるコストで提供してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,286百万円（前年同四半期比2.9%減）、営業利益は393百万円（前年同四半期比7.9%増）、経常利益は353百万円（前年同四半期比13.2%増）、四半期純利益は184百万円（前年同四半期比12.4%増）となりました。

セグメント毎の業績は次のとおりであります。

## ①コンクリート二次製品事業

コンクリート二次製品事業の主力事業でありますコンクリートパイル部門につきましては、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減で厳しい受注環境となりましたが、当社の主力工法となったHyperストレート工法が市場の評価を得て、受注が順調に推移しました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,421百万円（前年同四半期比1.0%減）、営業利益は393百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。

## ②コンクリートセグメント事業

かつてないほどの厳しい事業環境下にありましたが、当社グループは競争力強化のため、更なる製造原価低減に努めました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は434百万円（前年同四半期比45.3%減）、営業利益は2百万円（前年同四半期比83.7%減）となりました。

## ③工事業

施工が順調に進捗したことに加え、効率的施工体制の確立により追加コストの発生を抑えられました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,335百万円（前年同四半期比9.7%増）、営業利益は234百万円（前年同四半期比36.8%増）となりました。

## ④不動産賃貸事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は93百万円（前年同四半期比1.4%減）、営業利益は63百万円（前年同四半期比14.2%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、199百万円増加して13,570百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金、商品及び製品が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて、73百万円増加して11,203百万円となりました。これは主に短期借入金、長期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて266百万円増加して2,366百万円となりました。

### キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて、256百万円減少して1,275百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、177百万円の減少となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益351百万円、減価償却費180百万円であり、支出の主な内訳は売上債権の増加額125百万円、たな卸資産の増加額157百万円及び仕入債務の減少額299百万円であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、227百万円の減少となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出156百万円、営業権の取得による支出44百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、148百万円の増加となりました。

これは、主に長期借入れによる収入1,174百万円、長期借入金の返済による支出1,039百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の業績予想につきましては、平成26年7月11日の決算発表に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正しました。具体的な内容につきましては、本日公表の「業績予想の修正等に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,532,131	1,275,861
受取手形及び売掛金	3,156,565	3,284,452
商品及び製品	370,953	482,049
原材料及び貯蔵品	156,555	142,861
未成工事支出金	108,859	168,795
その他	67,344	89,756
流動資産合計	5,392,408	5,443,778
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,418,144	1,395,397
土地	4,771,873	4,771,873
その他(純額)	652,249	788,961
有形固定資産合計	6,842,267	6,956,233
無形固定資産	249,413	307,848
投資その他の資産		
投資有価証券	385,323	358,050
その他	507,923	504,720
貸倒引当金	△6,841	△300
投資その他の資産合計	886,406	862,470
固定資産合計	7,978,087	8,126,552
資産合計	13,370,496	13,570,331
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,858,922	2,773,947
電子記録債務	1,055,862	840,884
短期借入金	2,036,650	2,231,373
未払法人税等	175,922	168,343
その他	348,420	420,275
流動負債合計	6,475,778	6,434,823
固定負債		
長期借入金	3,994,490	4,064,716
退職給付引当金	109,153	108,445
役員退職慰労引当金	167,970	180,720
その他	382,762	414,816
固定負債合計	4,654,376	4,768,698
負債合計	11,130,155	11,203,521

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	720,420	720,420
資本剰余金	589,841	589,841
利益剰余金	1,037,814	1,162,064
自己株式	△176,723	△176,780
株主資本合計	2,171,352	2,295,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,805	6,969
その他の包括利益累計額合計	3,805	6,969
少数株主持分	65,182	64,294
純資産合計	2,240,341	2,366,809
負債純資産合計	13,370,496	13,570,331

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	6,476,463	6,286,372
売上原価	5,428,474	5,172,743
売上総利益	1,047,988	1,113,629
販売費及び一般管理費	683,596	720,566
営業利益	364,391	393,063
営業外収益		
受取利息	922	856
受取配当金	9,508	10,241
負ののれん償却額	1,298	1,298
貸倒引当金戻入額	3,375	—
その他	13,670	11,797
営業外収益合計	28,774	24,194
営業外費用		
支払利息	66,447	59,669
その他	14,651	4,421
営業外費用合計	81,099	64,090
経常利益	312,067	353,166
特別利益		
固定資産売却益	—	8
投資有価証券売却益	21,406	—
特別利益合計	21,406	8
特別損失		
固定資産除却損	211	1,864
会員権退会損	22,077	—
特別損失合計	22,288	1,864
税金等調整前四半期純利益	311,185	351,311
法人税、住民税及び事業税	147,366	167,101
法人税等合計	147,366	167,101
少数株主損益調整前四半期純利益	163,818	184,210
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△24	2
四半期純利益	163,843	184,207

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	163,818	184,210
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,559	3,172
その他の包括利益合計	△17,559	3,172
四半期包括利益	146,259	187,383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	146,275	187,371
少数株主に係る四半期包括利益	△15	11

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	311,185	351,311
減価償却費	196,066	180,215
のれん償却額	—	2,933
負ののれん償却額	△1,298	△1,298
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,375	△6,541
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△22,965	△708
受取利息及び受取配当金	△10,430	△11,098
支払利息	66,447	59,669
手形売却損	3,891	4,121
固定資産除却損	211	1,864
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△8
投資有価証券売却損益(△は益)	△21,406	—
会員権退会損	22,077	—
売上債権の増減額(△は増加)	△790,862	△125,468
たな卸資産の増減額(△は増加)	8,382	△157,339
仕入債務の増減額(△は減少)	166,781	△299,953
未払消費税等の増減額(△は減少)	26,329	△7,770
未収消費税等の増減額(△は増加)	2,297	—
その他	△18,530	54,489
小計	△65,198	44,417
利息及び配当金の受取額	10,498	11,098
利息の支払額	△65,721	△58,523
法人税等の支払額	△92,151	△174,759
法人税等の還付額	823	59
営業活動によるキャッシュ・フロー	△211,749	△177,706
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△73,507	△156,519
有形固定資産の売却による収入	—	20
有形固定資産の除却による支出	—	△1,739
営業権の取得による支出	—	△44,000
投資有価証券の取得による支出	△30,450	—
投資有価証券の売却による収入	29,250	—
投資有価証券の償還による収入	—	30,015
貸付金の回収による収入	32,196	161
その他の収入	9,252	8,566
その他の支出	△31,274	△64,049
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,531	△227,546

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	280,002	130,002
リース債務の返済による支出	△75,570	△55,401
長期借入れによる収入	1,350,000	1,174,000
長期借入金の返済による支出	△1,139,050	△1,039,053
自己株式の取得による支出	△83	△56
配当金の支払額	△29,858	△59,607
少数株主への配当金の支払額	△900	△900
財務活動によるキャッシュ・フロー	384,540	148,983
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	108,259	△256,269
現金及び現金同等物の期首残高	1,409,366	1,532,131
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,517,625	1,275,861

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンクリート 二次製品事業	コンクリート セグメント 事業	工事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
(1)外部顧客 への売上 高	3,456,661	794,987	2,129,457	95,356	6,476,463	—	6,476,463
(2)セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	129,862	—	—	15,079	144,942	△144,942	—
計	3,586,524	794,987	2,129,457	110,436	6,621,405	△144,942	6,476,463
セグメント 利益	383,898	14,864	171,587	73,618	643,967	△279,575	364,391

(注) 1 セグメント利益の調整額△279,575千円には、セグメント間取引消去12,417千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△291,993千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験研究費であります。

2 セグメント利益の調整後の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンクリート 二次製品事業	コンクリート セグメント 事業	工事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
(1)外部顧客 への売上 高	3,421,614	434,872	2,335,891	93,995	6,286,372	—	6,286,372
(2)セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	91,915	—	—	15,906	107,822	△107,822	—
計	3,513,529	434,872	2,335,891	109,901	6,394,194	△107,822	6,286,372
セグメント 利益	393,678	2,419	234,811	63,140	694,048	△300,985	393,063

(注) 1 セグメント利益の調整額△300,985千円には、セグメント間取引消去11,216千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△312,202千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験研究費であります。

2 セグメント利益の調整後の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「コンクリート二次製品事業」セグメントにおいて、株式会社山栄工業より事業を譲り受けたことに伴い、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては44,000千円であります。